

交通機關と通信機關の今昔

氏 原 鋳

本記事は保育上直接の参考とはならざるも昔時交通と通信機關不備の時代の如何に困難なりし状態を知らるゝ事の無益ならざるを思ひて

昭和の今日は海陸共に交通機關ととのひ、海には汽船の定期航路あり其設備待遇も大に改良せられて氣持よく、陸には汽車電車自動車等の快速なる乗物あり、汽車は明治五年始めて東京横濱間十八哩の開通あり之れ我國に於ける最初のものなりし、次で大阪神戸間開通し爾來諸方面に鐵道の布設せられて全國の隅々に及び、今日にては國有の鐵路の總程一四五七九キロ二萬哩以上となり、昔時長時間を要せし旅行の苦しみも此交通機關の便によりて、時間を節約し容易く目的地に達するを得る實に便利の時代となれり、昔時長時日を費や

せし旅行のさまを詠める能因法師の歌に
 都をば霞とともに出しかど秋風を吹く白河の關
 今日能因法師を在らしめば如何なる歌をよむであらふか、近時飛行機飛行船の空中往復を加へたり彼の昨秋東京に於ける全國保育大會開催の節の如き各地方より多數の出席ありて盛會なりしは、全く今日の交通機關の便によるものにて昔時なりせば兎ても此盛況を見る事は出來ざるなり、又毎夏文部省開催の講習會に出京する者又教育上の視察として上京する者又遠く地方より勉學の爲め出て來る者又近時盛んになれる登山者寒國の「スキー」

「スケート」に行く者又各地名所の探勝山間の温泉等の行樂にも、皆今日交通機關の發達によりて便利を得、斯くあらゆる交通機關に恵まれたる現代の人々には其便利に慣れて此有難味を別段感ずる事なからんも、私の如き老人の昔時の交通不便を體驗せる者には大に之れを有難味深く感謝する次第で有ります。

通信機關としては今日電信電話郵便等の設備は全國に開通し尙無線電信・「ラヂオ」放送・飛行郵便等によれる通信の迅速なるもの有るは、昔時には兎ても見ることも出來ず又想像も及ばざるものなり。

電信機は明治二年東京横濱間に始めて開通し郵便は明治五年全國に開通せられました。昔時の通信としては驛傳にて運ぶ飛脚と言ふ者あり、徒歩疾走して書狀を運ぶに中々時間かかり今日の郵便の比に非ず。至急を要する時は近きは乗馬に遠き

は早打ちとて使者は胴體に反餘の布を巻き筋肉のたるまぬ様にして駕に乗り其駕の中程に大きき布をたれ之れにつかまつて晝夜兼行で搖られつつ數日を費やして目的地に達するもので其疲勞の程は察するに餘り有り。彼の元祿十四年淺野内匠頭の殿中に於て吉良上野之介の刃傷事件を國元赤穂へ急報する時此早打を以てしたり。之れも今日の電報の比に非ず如何に其勞力と時間を費消せる事を。

明治の初年頃には未だ汽車が出來ず陸行には東京より京都迄東海道を取るに、五十三次を徒歩にて泊りを重ねて百三十里程を約二週間を費やし、其途中箱根八里の嶮大井川渡りの難所あり、大井川は今日にては橋が架せられたるも昔時はなく連臺と言ふものに乗る之れを四人の裸體人夫のかついで川中を越すもので、時に雨降り増水すれば渡る事出來ず減水を待つ爲めに滞在の止むなき實に厄介の場所なりし(川止メト云フ。私は汽車で此川

の鐵橋をわたる時例も昔の俤を偲びつつ通過いたします、又海上を行くに今日の如き汽船なく和船の帆の力によりて進む事とて順風で進みても中途で風向き逆となれば元の處へ吹き戻され中々目的地へ豫定通到着が出来ず。此和船に乗りて困難した經驗談を左に記るす。

明治元年今より六十四年前私の十歳の晩春御維新の際、東京在藩邸の家族一同は攝州なる國元に引き移る事となり、此一行は海上による事となりて大阪灣へは十日間で到着の豫定で大なる和船に乗り込み東京灣を順風で出帆しました、夫れより伊豆沖に進みしに逆風となり吹き戻されて或港に止り再び順風を得て駿河の海上にかかりし時又風向變りて吹き戻され又順風で進んで遠州難にかかるとに又吹き戻され斯様に度々と繰り返へす中に豫定の日數も過ぎ一同は何時大阪に着く事ならんと憂慮に日を送る折柄茲に一週間停船をなす事件突發す、これは乗船者中の婦人の俄に産氣づきたるにより上陸させて分婉させねばならぬ事となり急

ぎ或家に移し幸にして安産し一週間の後歸船したり。一同はさなきだに延着に心急がるる折柄にて大に迷惑なりし。夫れより數日後漸く大阪灣に安着す。實に此長き船中生活は苦痛なりし。殊に子供等の間食物の盡きて求むるに由なかりし事を。此船の延着に付て一の悲喜劇を演ぜり、此乗船者一同の戸主は先きに藩主に從つて上洛し後任務を終へ（東京家族等の出發の頃）東京の家族を迎ひの爲め東海道によりて着京して家族等の既に國元へ出立し最早國元へ到着せる日取なりと聞くも其事なきを以て或は難船の不幸に遇ひしものならんと一同は落膽萬々憂に沈み悲觀を極む。これが今日ならば電報を以て問合せば安否の直ちに分るものなるも其當時は此便利な機關なき事とて、唯徒らに歎息する計りなりし、斯くて戸主一同は兎も角歸國する事とし歸着して各家族の無事なるを見て先きの悲哀は喜悅に變りたり、以上昔時の交通と通信機關の不備の時代の不便なりし實例を述べ、便利なる現代の學びの力による事を感謝す。